

◎一般廃棄物処理施設の維持管理に関する計画

摂津市環境センター

計画概要

摂津市環境センターごみ焼却施設（以下「本施設」という）は、本市のごみを衛生的に処理する目的から、全連続燃焼方式として90t／日×2炉の焼却能力を有するものとします。

計画主要目

1. 年間処理計画

令和3年度は、次項に示すごみ質において、26,000トン焼却処理の見込みです。

2. 計画ごみ質

1) ごみの種類 一般都市ごみ、直接搬入ごみ

2) ごみの組成

項 目		単 位	低質ごみ	基準ごみ	高質ごみ
三 成 分	水 分	%	54	45	37
	灰 分	%	11	10	9
	可燃分	%	35	45	54
低位発熱量		kJ(kcal)/kg	5,440(1,300)	8,370(2,000)	11,300(2,700)

3. 炉 数

90t／日×1炉（3号炉）

90t／日×1炉（4号炉）

4. 炉形式

全連続燃焼式焼却炉（ストーカ式）

5. 炉稼働時間

1日24時間稼働

6. 運転計画

平成22年度から焼却炉の延命化のため1炉運転を実施しています。

7. 関係法令等の遵守

関係法令、規則、規格、条例、基準、指針等を遵守します。

1) 排ガス基準

項目	単位	規制基準値
ばいじん濃度	実測値	g/m^3 (0°C, 1気圧)
	O ₂ 12%換算値	g/m^3 (0°C, 1気圧)
	残存酸素濃度	vol%
窒素酸化物濃度	実測値	volppm
	O ₂ 12%換算値	volppm
	残存酸素濃度	vol%
塩化水素濃度	実測値	mg/m^3 (0°C, 1気圧)
	O ₂ 12%換算値	mg/m^3 (0°C, 1気圧)
	実測値	volppm
	O ₂ 12%換算値	volppm
	残存酸素濃度	vol%
硫黄酸化物濃度	volppm	—
硫黄酸化物排出量	m^3 (0°C, 1気圧)/h	6.26 注1
硫黄酸化物排出量から逆算したKの値		1.17 注1
水銀及びその化合物濃度	mg/m^3 (0°C, 1気圧)	1.98 注2
カドミウム及びその化合物濃度	mg/m^3 (0°C, 1気圧)	0.992 注2
鉛及びその化合物濃度	mg/m^3 (0°C, 1気圧)	3.97 注2
銅及びその化合物濃度	mg/m^3 (0°C, 1気圧)	19.8 注2
一酸化炭素濃度	実測値	volppm
	O ₂ 12%換算値	volppm
	残存酸素濃度	vol%
酸素濃度	vol%	—
測定時のごみ焼却量 (平均値)	t/h	—

注1：大気汚染防止法施行規則に定める排出基準

注2：大阪府生活環境の保全等に関する条例施行規則に定める排出基準

注3：廃棄物の処理及び清掃に関する法律に定める維持管理基準

2) 水質基準

項目	単位	規制基準値 (下水道法施行令)
水素イオン濃度	—	5~9
生物化学的酸素要求量	mg/L	600
浮遊物質	mg/L	600
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	5(鉱油類) 30(動植物油脂類)
よう素消費量	mg/L	220
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.09
シアン化合物	mg/L	1
有機燐化合物	mg/L	1
鉛及びその化合物	mg/L	0.1
六価クロム化合物	mg/L	0.5
砒素及びその化合物	mg/L	0.1
セレン及びその化合物	mg/L	0.1
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005
アルキル水銀化合物	mg/L	検出されないこと
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003
フェノール類含有量	mg/L	5
銅含有量	mg/L	3
亜鉛含有量	mg/L	5
溶解性鉄含有量	mg/L	10
溶解性マンガン含有量	mg/L	10
クロム含有量	mg/L	2
ふっ素及びその化合物	mg/L	15
ほう素及びその化合物	mg/L	10
チウラム	mg/L	0.06
シマジン	mg/L	0.03
チオベンカルブ	mg/L	0.2
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.2
ジクロロメタン	mg/L	0.2
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3
四塩化炭素	mg/L	0.02
ベンゼン	mg/L	0.1
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04
トリクロロエチレン	mg/L	0.3
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06
テトラクロロエチレン	mg/L	0.1
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	10

3) 灰質基準

項目	最終処分場 受入基準値
熱しゃく減量	10%以下
鉛又はその化合物	0.3mg/L以下
カドミウム又はその化合物	0.1mg/L以下
六価クロム化合物	0.5mg/L以下
ヒ素又はその化合物	0.3mg/L以下
水銀又はその化合物	0.005mg/L以下
アルキル水銀化合物	検出され ないこと
ダイオキシン類	含有 3(ng-TEQ/g)以下
シアン化合物	1mg/L以下
セレン又はその化合物	0.3mg/L以下
大きさ	300mm以下

計画内容

1. 維持管理に関する技術上の基準を維持します。(運転記録、共通運転日報を記録)
 - ・毎時間の焼却量を記録します。
 - ・ごみ受入れ時間帯は、30分毎ピット内にイーエム活性液を散布、17時から翌朝8時までは、毎時間散布し悪臭発散を防止します。
 - ・2時間毎に工業計器の指示値を記録します。
(排ガス温度、排ガス中の一酸化炭素濃度・窒素酸化物濃度・塩化水素濃度等)
2. 維持管理に関する基本的な考え方
 - 1) 日常点検による状態把握
8時間毎に機器の運転状態を目視・異常振動・発熱・運転音・異臭の有無、工業計器の指示値で判断し、損傷個所は速やかに補修します。
 - 2) 機器交互運転による延命化
毎週金曜日に予備機と運転切替えし長期停止の機器を無くします。また、稼働時間を均等にする事で、錆付きや固着を防ぎ長寿命化に繋がります。
 - 3) 機器メンテナンス
機器の稼働状態に応じて(週間、月間、3ヵ月、6ヵ月、1年、2年の各周期)給油、給脂します。また、適宜清掃することで雰囲気改善しています。
 - 4) 定期補修
施設を全部停止して、機器内部を点検し今後1年間は、正常に運転できるための整備を実施します。